

新年のごあいさつ

久留米市社会福祉協議会

会長 川地 東洋男



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆さまには、お健やかに新しい年をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより、本会が取り組んでおります地域福祉活動の推進につきまして、多くのご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

さて、少子高齢化を背景に、一人暮らしの高齢者や高齢者のみの世帯が増加しております。それに伴い、認知症などにより判断能力が低下し、日常生活への支援を必要とする人の増加が予想されています。このよ

うな人たちに、地域で安心して暮らせるような仕組み作りが今、強く求められております。

そのような中、本会では昨年10月に久留米市から委託を受けて、久留米市成年後見センターの運営をスタートさせました。併せて法人後見事業という新たな取り組みも開始したところであります。

今後多様化するであろう住民の福祉ニーズに对应え、地域福祉事業を推進していくためには、地域の皆さまの支え合いが重要になります。

本年も地区社会福祉協議会、民生委員児童委員協議会をはじめ、関係団体や市民の皆さまと一体となり、地域福祉の課題解決に努め、「『こころ』あふれる支えあいのまち くるめ」の実現を目指してまいります。どうぞ本年も変わらぬご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

平成26年を振り返る 支え合いのまちづくり この1年

- **初の災害ボランティアセンター設置運営訓練実施（1月）**
1月の「防災とボランティア週間」に合わせ、久留米市や、日本防災士会久留米支部等と協働し、初めて災害ボランティアセンター設置運営訓練を市総合福祉センターで実施しました。
- **共同募金事業の一環としてボランティア団体活動活性化補助制度を新設（5月～）**
希望団体を募集し、新たに設置した審査会により補助団体を決定しました。
- **久留米市内初の寄付つき商品が誕生（5月）**
商品・サービスの売上に応じ企業が寄付する「寄付つき商品」が誕生しました。
また、12月12日に1年分の契約件数に応じた額をご寄付いただきました（関連記事は7ページ）。
- **広島市災害ボランティアセンターへ本会職員を派遣（9月）**
8月の広島市土砂災害により設置された災害ボランティアセンターの運営支援として本会職員2人を派遣しました（詳細は6ページ）。
- **久留米市成年後見センターをオープン（10月）**
久留米市の委託を受け、市総合福祉センターの1階に久留米市成年後見センターをオープンしました。成年後見制度に関する相談や制度利用の支援を始めました。
- **市社会福祉協議会の独自事業として法人後見事業開始（10月）**
家庭裁判所からの選任を受け、市社会福祉協議会が法人として成年後見業務（財産の管理や、本人の生活を支援する身上監護など）に着手しました。
- **久留米市の3つの公共施設の指定管理者に決定（12月）**
これまで管理運営してきた三潞総合福祉センターと総合福祉会館に加え、新たに田主丸老人福祉センターについても新年度より管理者の指定を受けることになりました。今後も利用しやすい施設運営を目指してまいります。



久留米市成年後見センター開設